目次

客観情勢

一、資本主義の現勢、

二、全国農村大衆党の構成と任務、

進撃斗争

三、全国農村大衆党の進撃斗争方針、

四、ブルジョア政党の進撃対策、

五、如何に戦ったか、

六、我等は勝敗した、

進撃斗争の批判

七、日帝斗争の不徹底、

八、組織の不整備、

九、地方組合斗争の不徹底

結論

客観情勢

一、資本主義の現勢

昨年、資本主義の一般的危機の基礎の上に発展し、全資本主義国、全資本主義部門を襲った大上最大の世界経済恐慌と、サヴェート同盟の社会主義建設の巨大なる成長とは、躍進しつゝある社会主義体制と、崩壊しつゝある資本主義体制との間の対立を、全く明瞭にした。（〜〜〜